

国際地域研究学会 第13回大会

2023年12月2日（土）

会場：新潟県立大学 コモンズ3号館 5105大講義室

午前の部 個別発表 11:00～12:05（開場:10:45）

●田畑圭介（新潟県立大学）
「英語コーパスを用いた英語表現の
重要度の抽出」

●宮崎七湖（新潟県立大学）
「新潟県立大学における異文化間交流の促進
—国際共修科目と日本語チューター制度—」

午後の部 学生参加型シンポジウム 13:00～16:30

何のために外国語を学ぶのか？

—国際性、複言語主義、CEFRの意味をあらためて問い直す—

協調よりも対立関係が深まる国際社会のなかで、日本の地域社会の多言語化・多文化化がすすんでいる。そして、AI翻訳、生成AIの技術が飛躍的に向上し続ける現代社会において、私たちに求められる国際性、外国語能力、そして言語能力はどのようなものであるべきなのだろうか。

本シンポジウムでは、二つの特別講演の後、学生・教員を交えて、まず、小グループでディスカッションをし、次に、それを全体でシェアすることで、上記の問いの答えを自分事として考えるきっかけとしたい。

●特別講演 1

西山教行氏

（京都大学大学院教授）

「CEFRからみた外国語教育の意義」

●特別講演 2

長谷川由起子氏

（前九州産業大学教授）

「日本における多言語学習のあり方」

